

河内福祉村

みかんの丘 だより

施設便にくわえ、シニアライフを豊かに
する地域の情報をお届けします。



第15号

発行 社会福祉法人 陽光「みかんの丘」

- ・特別養護老人ホーム・デイサービスセンター
- ・居宅介護支援事業所・ショートステイ
- ・地域交流センター「夢見館」



謹賀新年

撮影：西村節夫様（福岡）



明けましておめでとうございます。
ものの本によると、巳という字は胎児の形をした
象形文字で、蛇が冬眠から覚めて地上に這い出す姿
を表し「起こる・始まる・定まる」などの意味がある
とされています。
さて本年は、何が始まり何が定まるのでしょうか。
昨年より私どもは「介護力強化プロジェクト」と称し、
利用者の方々の「生活をできる力」を上手に引き出し、
持っておられる能力を最大限利用して生活をしてい
ただける方法を確立すべき運営を開始しました。その
結果、何人かの方は「おむつ」が外れ、当たり前のように
トイレで用を足し、何人かの方はベッドから起き出し
歩くことも可能になりました。また、胃に直接チュー
ブを入れ、栄養をとっていた方が口からの食事が可能
になりました。今年は何人かの方が家に帰って生活が
出来るようにトライしてみようと思っています。
今までの特別養護老人ホームから、入所したら再び活力
がわいてくるような施設にしていきたいと思っています。
施設にくるの生きがいであるようなデイサービ
スを作ろうと思いい運営してまいりましたが、本年は
新たな生きがいを見つけ、それを「達成するための
力」を創り出すためのデイサービスの運営へと目的
を少し変えていこうと思っています。
私どもは、これから益々の超高齢社会化に向けて、
利用者の自立、自助する力が湧きだす施設となりた
いものです。
本年もよろしくお願いたします。

平成25年 元旦



みかんの丘
施設長
金澤 剛



笑う丘に福来たる

地域のみなさまに支えられ

みかんの丘も開設九年目。

本年も元気に明るく、

素敵な出会いや輝く笑顔が

溢れる場でありたい。

そして、みなさまに

多くの福が訪れますように。

スタッフ一同



ア ナ タ
ら し く

シ ク
タ し
ワ ら

社会福祉法人 陽光 みかんの丘

【お問合せ】〒861-5348 熊本市西区河内町白浜字堀切 1440-2 TEL 096-278-4055 FAX 096-278-4056 担当：谷山

【事例紹介】

こんな事が出来るようになりました！

かめさん(仮名)



かめさんは、胃ろう(胃から管を使い飲み物や食べ物を栄養にさせていただく行為)をされていた方でした。「まず、水分摂取や常食化」を合い言葉に胃ろうをやめ、口から召し上がっていただく事を目指して取り組みが始まりました。その結果、今では自力で召し上がられるようになりました。飲み物では、コーヒーがお好きだという事を知ることができ、色んな飲み物を楽しんでいただいています。

きんさん(仮名)



きんさんは、この取り組みを通じて、水分摂取量が月を追うごとに増えており、その中で、改めて好きな飲み物がサイダーである事がわかるなど新発見もありました。歩行訓練も少しずつ続けた結果、横に手すりのない椅子でも座位を保持していただく事が出来るようになりました。更に、普段はお食事をスプーンでしか召し上がらないきんさんが、箸にて完食する事が出来ました。

つるさん(仮名)



つるさんは排泄や運動について向上していく事を望まれていました。そのため積極的に取り組みを続けられ、多い時では1日の水分摂取量が軽く2000mlを超えておられました。その結果、歩行器を使い100m歩けるようになり、日中は普通の布パンツにて過ごせるようになられるなど、大きな変化がみられています。今後も杖使用の歩行や、夜間も布パンツのみで過ごせるようになれる希望を秘めていらっしゃいます。

最後に…
夢が叶ったときの輝くような笑顔を大切に
自立支援に向けての取り組みを行う中で、利用者の方々に変化が表れ、私達スタッフも日々発見と驚きを感じております。
今後このような素敵な変化を感じとり、それをさらに発展させていけるよう、皆さまと協力して歩んでいきたいと思っております。

ご家族様よりのお手紙をご紹介します



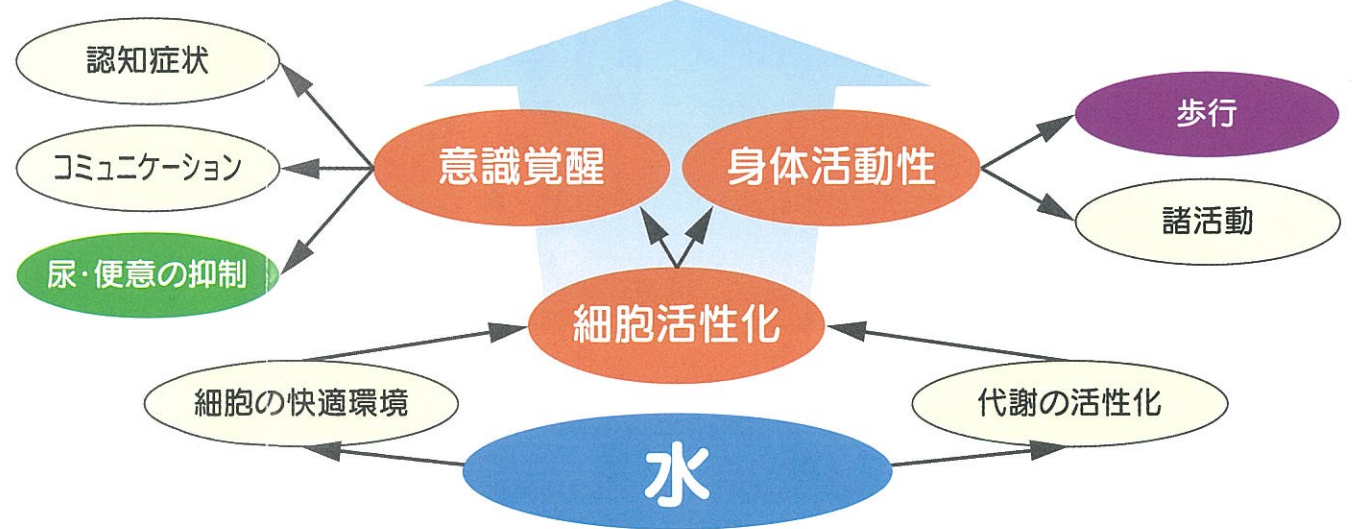
「オーイ、オーイ」又呼んでいる。何の用事もないのに私の姿が見えないと、呼び続ける主人。仕事をしながら介護している私にとって、これは非常に辛いものでした。多分私の顔は泣顔だった日が続いていたと思います。今思えば、きっと主人も不安と淋しさがあつたのだでしょう。
とうとう私自身が救急車のお世話になってしまい、その結果ケアマネジャーの方を通じ、みかんの丘にお世話になる事になりました。しばらく主人と会う事も出来ずやっと面会出来たのは2～3ヶ月後でした。気のせいかわつとした様子で、何だかおとなしくなった様に感じました。
その後、月に2・3回の面会をしていますが、会う度に元気になって、在宅時よりずっと快適にしている様子に、みかんの丘の皆様がいつも声をかけてくださって、淋しさも不安も無くなってきたのだと感じます。在宅中は、病院だけの外出でしたが、今は、お花見も含め、四季折々の行事も楽しみにしている様です。
今は私が帰る時に「気をつけて帰れよ」とまで言ってくれるまでに元気になり、これは結婚以来聞いた事も無い言葉です。これもスタッフの皆様が小さな事にまで真剣に耳をかたむけてくださり、やさしく接して下さっているからだと思っています。これからもどうぞよろしくお願い致します。

私たち、特別養護老人ホームみかんの丘は、これからの特養の在り方として、自立支援力をもった施設になることを目指し実践しています。それは、ご利用者さんに自分らしい生活を送って欲しいと思い、ご利用者さんが本質的に望まれているのは何かを考えることから始まりました。改めてご利用者さんの生活を見つめ、それを私達自身に置き換えてみると「おむつって気持ち悪い」「車いすにずっと座っていたら尻が痛い」「食事はおいしく頂きたい」など様々な想いに触れる機会となりました。これまでの介護は、穏やかに過ごしていただくような援助でした。しかし、これからは、ご利用者さんの夢に寄り添い、いつまでも自分らしく自立した生活を送っていただくために、私達自身の介護の意識やチカラをさらに強化しなければならぬという考えに至りました。
そこで私達は、どうしたら利用者さんの自立した生活を可能にするか、という理論と技術を習得するため「介護力向上講習会」に参加し、新たな取り組みを行っております。これらの取り組みを続けていくことで、利用者さんの自立支援につなげていきたいと思っております。今回の広報紙では、この取り組みの内容と現状をレポートしたいと思います！

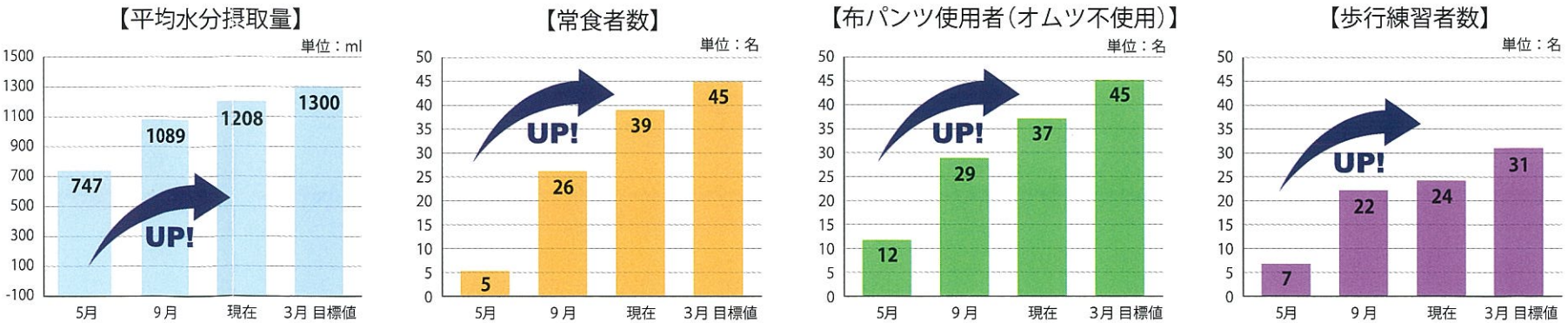
【自立支援・介護力強化への取り組み】



水は細胞を活性化させ、身体と意識の両面を活性化していきます。



開始5月時点からの成果と目標値のグラフ統計



自立支援を本気で取り組む
特別養護老人ホームへ！
”ご利用者の夢に寄り添い叶える介護”